

「^わ話・^わ和・^わ環」で取り組む くまきたの食育

《学習のねらい》 給食を通して、「話がはずむ・場が和む・人とつながる（環）」を目標とする。

- ・環境や資源に配慮した食生活を実践しようとする事ができる。
- ・生産者や自然の恵みに感謝し、食品を無駄なく使う食生活を実践しようとする事ができる。
- ・食事を通してより良い人間関係を構築できるよう工夫する事ができる。

《学習の流れ》 実施時期 5月～3月

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1 美術	パッケージデザイン ・既存のデザインの工夫点について知り、デザインに「健康志向」をどのように取り入れるかを考える。	■食と健康について自分事として考える。
2 家庭	給食をおうちでつくってみよう ・献立表のレシピを参考に、自分の好きな給食を楽しみながら実際に作り、メールにてレポートを提出する。	■家族と共に料理を楽しみ、味付けや食品ロスにならない方法を考える。
3 総合	調理室を取材しよう ・生活委員が調理中の様子を取材し、どのように給食が作られているかをクイズ形式で動画を配信する。	■給食ができるまでの配慮や工夫を知り、調理員の方々に感謝の気持ちを伝える。
4 総合	配食方法について工夫をしよう ・給食の残食率を減らすため、食器のデザインに着目し、配膳方法を工夫し、食品ロスをできるだけなくす。	■栄養教諭や委員会からの呼びかけを行い、配缶の仕組みや配食の目安を知る。



パッケージデザイン

調理室を取材しよう

感謝のメッセージ

配食方法

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

- ・栄養教諭
- ・給食調理員

《成果》

- ・給食の残食率は、4月：16.2% 5月：15.2% 6月：14.5% 7月：9.6%となっており、配食方法の工夫や委員会からの呼びかけにより、取り組みの成果が見られる
- ・給食ができるまでの過程で、生産者や調理員の方々、委員会の仲間への感謝の気持ちを伝える事ができ、目標としている「話・和・環」が具現化されつつある。